

Q18 どのような学習活動を組めばよいか、日々悩んでいます。



特別支援学級担任

どんな活動をすればよいのか、分からない時があります。



通級指導教室担当

子どもにとってどんな活動(指導)が最適なのかを
選ぶのが難しいです。



特別支援学級担任

週一回自立活動の時間を基本的に確保していますが、どのような活動を組めばいいのか頭を悩ますことがあります。

A ①児童生徒の得意な面を生かす、②アクティブな活動にする、③日常生活とつながった活動をすることに留意し、学習活動を設定します。

①児童生徒の得意な面を生かせるような活動を仕組みましょう。

学習上や生活上の困難に対して指導しますので、苦手なことが学習の課題となります。しかし、例えば、視覚優位の児童生徒には、絵やイラスト、動画の視覚情報を使って考える活動を仕組んだり、短時間であれば集中できる児童生徒には活動を細切れに設定したりと、得意な面を生かすことで、学習に取り組みやすくなります。

②アクティブな活動も取り入れましょう。特にゲーム的な要素があると、楽しく取り組めます。

ワークシートに書く、ビーズを繰り返してつなげる等、机上の活動だけだと、児童生徒も意欲が減退します。ロールプレイや粗大運動等の体全体を動かす活動や双六、かるた等のゲーム的な要素がある活動、ペアトークやグループ協議等の話し合い活動等、アクティブな活動を組み合わせると、最後まで取り組めます。

③日常生活とつながった活動も取り入れましょう。

Q17の教材設定と同様に、単に〇〇トレーニングや〇〇トレ、机上の学習だけでなく、学習上や生活上の困難の場面を想定した活動を取り入れ、日常生活とのつながりを持たせると、何のためにするのか児童生徒が意識できます。

書籍やインターネット上で紹介されている実践事例を参考に、上記①～③に留意して自校の児童生徒用に工夫してみましょう。

自立活動の授業においても、授業の始めに「めあて」を持ち、終わりに「振り返り」を行う学習活動は、大切です。

